

は は き 波々伎

令和7年度 施設理念
お一人おひとりを大切に、
その人らしい生活を支援します。

- 施設方針
- (1) 利用者がいつまでも自立した日常生活が送れるよう支援します。
 - (2) 利用者の願いを尊重し、尊厳ある暮らしを提供します。
 - (3) 地域と協力・連携を図り、地域貢献に取り組みます。
 - (4) 職員の活気が感じられる職場を目指します。



2月2日(月)
施設には大暴れする赤鬼が登場し、参加者の皆さんは「鬼は外、福は内!!」の掛け声とともに玉を投げ、会場は賑やかな声と笑顔に包まれました。会場に来られなかった方のために、赤鬼が各居室を訪問しました。突然の赤鬼の登場に、思わずカッぱい玉を投げる場面も見られましたが、職員の扮装だと分かったら、皆さんホッとした表情で笑顔に。
シルバー倉吉にたくさんの福が訪れる、楽しい節分行事となりました。

- 今月号のご案内
- ★節分行事
 - ★節分の思い出
 - ★職員研修 感染症発生時の対応
 - ★喫茶 花みずき
 - ★明かりをつけましょ ぼんぼりに♪
 - ★今月の予定
 - ★ようこそようこそ
 - ★編集後記

編集発行
社会福祉法人 敬仁会 養護老人ホーム シルバー倉吉
〒682-0018
鳥取県倉吉市福庭町2丁目145
TEL (0858) 26-0821
FAX (0858) 26-0822
E-mail silver@med-wel.jp
URL https://www.med-wel.jp/silver/

HPIはこちらよりご覧いただけます(^^)

~ようこそ ようこそ~

-シルバー倉吉の1コマ紹介-



窓から見える景色が真っ白で、中庭の植木鉢も雪に埋もれてしまいました。

2月8日、一晩でたくさん雪が積もりました。



天気の良いから、ちょっとお散歩♪

3月の予定

- 4日 誕生会
- 5日 内科往診
- 9日 喫茶 花みずき
- 10日 上井保育園体操交流
- 11日 お花クラブ
傾聴ボランティア
- 12日 精神科往診
- 16日 喫茶 花みずき
- 17日 上井保育園体操交流
- 19日 寿司の日
内科往診
- 20日 **春分の日**
- 25日 栄養相談日
- 26日 精神科往診

※予定が変更になる場合もあります。ご了承いただきたく存じます。

ボランティアを募集しています
レクリエーション活動など、お手伝いいただける方はご連絡ください

編集後記
先日、ニュースで河津桜と菜の花の映像が流れており、とても綺麗でしたね。会下谷川の桜は、まだまだ蕾も固そうでしたが、きっとこれからの三寒四温を経て、きれいに咲いてくれるでしょうね。暗いニュースも多いですが、桜を待ち遠しく感じる平和な日常が続きますように…。(本)

ちょっと宿泊、どうですか？
シルバー倉吉では、生活管理指導短期宿泊事業(ショートステイ：定員4名)のサービスを受けています。介護度がなくても利用可能です。ご利用のお問い合わせは、**居住地の市町村へ**お願いします。

お困りごとはありませんか？
シルバー倉吉では、「**高齢者に関するお困り事相談**」を受け付けております。一人で悩まずに、まずはお気軽に相談をしてみてください。
相談受付担当：本間、松原

掲載されている写真につきましては、ご本人様の了解を頂いております。

喫茶花みずき

2月9日(月)

「手作りカステラ」を提供しました。カステラは口当たりが軽やかで、食べ進めても飽きのこないサッパリとした味わい♪温かいコーヒーや紅茶と一緒に、ゆっくり味わっていただきました。「カステラなんて久しぶりに食べた!」との声や、嬉しそうに笑顔でピースをされる方もおられ、会場はとても和やかな雰囲気に包まれていました。



節分の思い出

鬼の登場に手を叩いて喜んでおられました。



みんなで鬼退治!



あ〜楽しいなあ!



握手しよう



どっかで会った気がするなあ



鬼は外!
福は内!



鬼と仲良くなりました

「明かりをつけましょ ぼんぼりに♪」



2月25日(水)制作活動で、折紙と画用紙を組み合わせ、華やか雛飾り作りに取り組みました。「どんなも綺麗な…」とお好みの千代紙を選び丁寧に着物を折って、表情豊かな可愛らしいひな人形が完成しました。「お雛様の位置はどっちだったかな」と思い出しながら話される姿もみられ又、「うれしいひなまつり」を口ずさむ姿もみられ和やかな雰囲気に包まれました。



職員研修

感染症発生時の対応

2月4日(水)

感染BCPに基づく嘔吐物処理訓練を実施し、藤井政雄記念病院より安藤看護師を講師としてお招きしました。訓練では、嘔吐物処理における注意点について学び、嘔吐者が発生した場合は感染症を疑い、速やかに対応することの重要性を確認しました。嘔吐物は約2メートル四方に飛び散る可能性があるため、その範囲を汚染区域とし、清潔区域と明確に分け、チームワークで感染予防に取り組むことが必要であると学びました。



ブラックライトで飛散状況を確認。初期対応が非常に重要であることを理解しました。



訓練後、喀痰吸引研修も実施しました。安藤ナースに教わりながら手順を再確認しました。